



～座右の銘～

「名医とは、うまい医師ではなく、いかにリスクを予測し回避するかが、名医である」

今でも頭に残っている最初に勤めた診療所の先生(教授)の一言です。

当時は、学校を卒業したばかりの私でしたので、この言葉がよく分かりませんでした。また、よく怒られましたが、上司の先生にフォローしてもらい良い経験となりました。

今でも、心に留めながら仕事にと思っています。

◆清瀬市歯科医師会＝「いつまでもおいしい物を食べたい」という気持ちが長寿を招きます。そのためには、虫歯や歯周病の予防が、そして普段からの手入れが大切です。会員一同、そのような思いで、少しでも皆さんのお役に立ちたいと、診察しています。

一般社団法人 東京都清瀬市歯科医師会 島田 尚範 会長

～座右の銘～

「必要な事を、必要なだけ、必要な人に行く」

格好いい銘ではなく、長年医療に携わり感じてきたことですが、これを患者さんも含めて、皆が実践できれば、有限である財源を守り、医療や行政をスリムにできるのではないのでしょうか。旧年は、市の関係各所の方々と密度の濃い情報交換を行い、公衆衛生・災害対策・地域連携などを着実に進めて参りました。本年も超高齢化社会に対応した体制作りを市と協力しつつ、2次医療圏と足並みを整えながら確実に進んでいく所存です。

◆清瀬市医師会＝市内の13病院、29診療所、1介護老人保健施設の94人で構成され、行政機関などと連携し、災害時医療など、市民の皆さんの健康管理・疾病の早期発見などに貢献できるよう活動しています。



一般社団法人 清瀬市医師会 平野 功 会長

～座右の銘～

「明るく、楽しく、誠実に」

私たち民生・児童委員は、地域の方の相談に乗ることが多々あります。その時、私たちが暗い顔をしていたら地域の方が相談に来なくなるかもしれません。努めて明るい顔で毎日を送りたいと思います。また、「協議会」の組織としての活動もあり、委員同士お互いを支え合い、励まし合って「楽しく」活動したいと思っています。

「明るく」「楽しく」、そして地域の方々には「誠実」に向き合って、活動を続けていきたいと思っています。

◆清瀬市民生・児童委員協議会＝現在、東部地区24人(うち主任児童委員3人)と西部地区27人(うち主任児童委員2人)の計51人で、子育て・児童・生活不安・障害のある方・高齢者などのお困りごとの身近な相談者として、日々活動しています。



清瀬市民生・児童委員協議会 池永 和子 会長

～座右の銘～

「友愛奉仕」

私が携わっている老人クラブ連合会の活動原点がこの言葉に凝縮されています。「You & I」と当て字しても良いくらい、高齢者同士の心の触れ合いを通じて、独り暮らしや閉じこもりがちの人々に声を掛け、情報を伝え、誰でも気軽に立ち寄りおしゃべりを楽しみ、孤独の解消を図り、「助ける」のではなく「支え合い」、一緒に生きようとするのが活動の基本です。お気軽に声をお掛けください。市内の仲間たちが、喜んで歓迎いたします。

◆清瀬市老人クラブ連合会＝市内25クラブ・1,188人の仲間が、それぞれの地域でスポーツ活動(グラウンドゴルフ・スカットボールなど)や文化活動(フラダンス・手芸など)、教養活動(研修旅行など)を行う他、子どもたちとの交流活動も行っています。



清瀬市老人クラブ連合会 小野 秀 会長



～座右の銘～

「交通事故のない安全・安心な街を目指して」

交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を呼び掛け、交通事故のない安全・安心な街を目指して、交通事故防止に取り組んでいます。

交通事故は最も身近な日常的な問題であり、交通安全の主役は皆様方一人ひとりです。どんなに気を付けていても、事故の可能性がないとは限りません。

市民の皆さんに交通ルールとマナーを守っていただき、安全・安心な街にしていきたいと思っています。

◆清瀬市交通安全協会＝安全・安心な街を目指し、春・秋の全国交通安全運動期間などに、清瀬郵便局交差点と通学路に朝・夕の1時間ずつ、街頭配置で交通事故防止のため、指導を行っています。

清瀬市交通安全協会 小寺 茂 会長

～座右の銘～

「塞翁が馬」

私は離乳食の頃、食べ物を受け付けず、親から一時生存を諦めたと聞いています。そのため、子どもの頃は虚弱体質で気弱な性格でしたが、青年期に入り意識を変え、今の様な自分になりました。今までにもいろいろありましたが、人生悪いことばかりはない、必ず良いことが回って来ると確信しています。今、不幸と思っている人は必ず良いことが巡り回って来ることを信じ、幸せと思っている人も慢心することなく過ごせればと思います。

◆清瀬商工会＝昭和35年、地域に根ざした商工業者の自主的な組織として設立。ニンニクスタンプ事業やキャロット便、きよせひまわり市、ニンジン焼酎・ジャム・石鹸・ストラップ、ゆるキャラ「ニンニンくん」など、地域経済発展に向けた活動をしています。



清瀬商工会 田中 宏 会長

～座右の銘～

「われ以外みなわが師」

人それぞれで完璧であるはずなどありません。だから人間は面白く私は好きです。

私自身の精神状態で他人の見方が変わってきます。私だって生身であるから仕様が話です。

人それぞれ人生を全うするよう生きて生活しています。その生き様は各人さまざまであって、私自身学べることがあると思っています。

◆NPO法人清瀬市体育協会＝昭和38年に「清瀬市体育協会」として発足。地域スポーツの振興と競技を通じて、加盟団体相互の融和を図ることを目的として、創立50周年を迎えた今、21団体と成長。市民の皆さんの健全育成に寄与しています。



NPO 法人清瀬市体育協会 広瀬 洋 会長

～座右の銘～

「和」

心と心を通わせること。

文化協会は昨年11月に、清瀬けやきホールや生涯学習センター、郷土博物館で清瀬市文化協会創立50周年記念清瀬市市民文化祭を団結して盛り上げ終わることができました。会員や市民参加団体の方々、そしてお客様と一つになり、祭りの後は手に手を取り、握手し涙して感激の一場面でした。私の合唱団も平日頃、「ハーモニー」を心がけて練習しています。

◆清瀬市文化協会＝舞台の部9団体、展示の部10団体、大会の部2団体で構成。市民文化祭への参加の他、各団体は個々に発表会や展示会などを行っています。また、市内だけではなく近隣市などへも、賛助出演をするなどの活動をしています。



清瀬市文化協会 田中 金子 会長